

7 葛教指第 121 号
令和 7 年 4 月 9 日

事業者各位

葛飾区教育委員会事務局
学校教育推進担当課長

学校教育総合システムに関する情報提供依頼（R F I）のお願い

貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り誠に有難うございます。

葛飾区の学校教育総合システムは平成 23 年度から運用を開始し、令和 2 年度にリプレースを行い、現行システムは令和 9 年度末まで使用することとしております。このため、次期学校教育総合システムのシステム構築方針を検討するための情報収集を目的として情報提供を依頼いたします。

つきましては、ご多忙のところ大変恐縮ですが、以下に記載する情報のご提供について貴社のご協力を賜りたくお願いいたします。

記

1 情報提供依頼の趣旨

本区の学校教育総合システムは平成 23 年度から運用を開始し、令和 2 年度のリプレースを経て、現行の学校教育総合システムが稼働しており、区立学校における ICT を活用した教育の充実や校務の効率化などに寄与してきました。

現行の学校教育総合システムは、令和 9 年度末にライフサイクルの終期を迎えることから、令和 10 年度の新システムの稼働に向けては、本区の教育情報化分野の行動計画である「かつしか教育情報化推進プラン（2024～2028）」に基づいた教育 DX を推進するため、校務系・学習系のネットワーク統合によるクラウド環境の活用を前提とした新たな学校教育総合システムとして運用開始することを目指して検討を進めています。

この情報提供依頼は、本区が求める教育 DX の実現に向けて、貴社ソリューションとの適合性や構築スケジュール、システム移行に係る前提条件等、再構築を進めていくにあたって必要となる情報を広く収集し、要求仕様の妥当性や実現可能性を評価するとともに最適化方針をまとめることを目的としています。

2 前提条件及びシステムリプレース要件

別添「葛飾区学校教育総合システムリプレース要件（概要）」をご参照ください。

3 システム調達スケジュール（予定）

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| (1) 令和7年5月～8月 | RFIにより収集した情報を基に次期システムの要件を整理 |
| (2) 令和7年9月 | 予算要求 |
| (3) 令和8年1月～3月 | プロポーザルによる事業者の選定 |
| (4) 令和8年4月 | 委託契約締結 |
| (5) 令和8年5月～令和10年3月 | 要件定義・設計・構築等 |
| (6) 令和10年4月 | 新システム稼働・運用開始 |

4 依頼内容

以下の依頼事項に対するご提案等を「2 前提条件及びシステムリプレイス要件」を参照の上、ご提示いただきますようお願いいたします。

(1) 貴社ご提案システム等の概要資料

（様式自由）

次期学校教育総合システム等のご提案内容の概要をご提示ください。提示に当たっては、提案するシステムを導入することでどういった効果が期待できるのか合わせてご提示ください。

(2) 情報提供依頼事項に対する提案資料

（様式1）情報提供依頼事項に対する提案資料リスト

（様式自由）詳細資料

情報提供にかかる詳細資料は様式自由とし、様式1の情報提供項目と紐づくよう、インデックスを付けて作成をお願いいたします。

提供可能な情報について様式1の「提供資料」列にインデックス番号をご記入の上、ご提示ください。

(3) 貴社ご提案システムの運用・保守体制資料

（様式自由）

システム導入後の保守・運用に関する体制やサービス内容の資料をご提示ください。

(4) 当該システムと同等又は類似の導入実績に関する回答

（様式2）導入実績（構築・保守運用）

ア 自治体の名称 ※自治体名が記載できない場合は、東京都A区などの表記も可

イ 自治体の人口

ウ 契約期間

エ 契約金額（単位：千円）

オ 契約内容

(5) 概算見積

（様式自由）

初期費用及び保守運用費用、それぞれの概算見積りを作成願います。

(6) 構築スケジュール案

(様式自由)

システム構築や現行システムからの移行に関するスケジュール案をご提示ください。

(7) システム移行等に関する注意事項や要望事項

(様式3) システム移行等に関する注意事項や要望事項

現行システムからのデータ移行等、システムの移行に関する注意事項や要望事項がある場合は、ご提示ください。

(8) その他導入に当たっての留意事項や提案等

(様式4) その他留意事項や提案等

その他、留意事項やご提案等がございましたら情報提供をお願いします。

5 RFI 実施期間

令和7年4月9日(水)から令和7年5月26日(月)まで

6 様式について

- (1) (様式1) 情報提供依頼事項に対する提案資料リスト
- (2) (様式2) 導入実績(構築・保守運用)
- (3) (様式3) システム移行等に関する注意事項や要望事項
- (4) (様式4) その他留意事項や提案等
- (5) (様式5) 参加申込書
- (6) (様式6) 質問票

7 本依頼に関する参加希望

(1) 受付期間

令和7年4月9日(水)から令和7年4月22日(火)17時まで

(2) 参加希望の連絡について

(様式5) 参加申込書を記入の上、下記メールアドレスに送付してください。

- ・メールアドレス：281000@city.katsushika.lg.jp
- ・メール件名：【学校教育総合システム】情報提供依頼参加希望

8 本依頼に関する質問

(1) 受付期間

令和7年4月9日(水)から令和7年4月22日(火)17時まで

(2) 質問方法

(様式6) 質問票に質問事項を記述の上、下記メールアドレスに送付してください。

- ・メールアドレス：281000@city.katsushika.lg.jp
- ・メール件名：【学校教育総合システム】情報提供依頼に関する質問

(3) 回答方法

参加申込した際に貴社より提示いただいたメールアドレス宛に回答します。なお、原則としてすべての回答は、質問者名をふせて、本情報提供依頼（RFI）にご協力いただくすべての事業者電子メールで回答します。

(4) 回答予定日

令和7年4月30日（水）

9 本依頼への情報提供資料の提出方法

(1) 提出方法

情報提供内容一式をファイリングし、インデックス（表紙・背表紙に貼付）を付した紙面（正副それぞれ1部）・磁気媒体1枚を送付いただきますようお願いいたします。また、ファイリング方法は随時差替えが可能なようにバインダー形式とします。

磁気媒体等に保存する形式は、可能な限り Microsoft Office 2016 で編集可能なファイル形式とし、編集ができないデータについてはPDF形式での提出も可とします。なお、磁気媒体表面にラベルを貼付してください。

(2) 提出先

〒125-8444 東京都葛飾区立石五丁目13番1号 本館4階428番窓口

葛飾区 教育委員会事務局 教育指導課 教育情報係 宛て

※提出資料一式を直接持ち込む場合は、受領日時を事前に調整いたしますので、「10 お問い合わせ先」までご連絡ください。

(3) 提出期限

令和7年5月26日（月）17時まで

（郵送の場合は、当日消印有効）

(4) 提出物

ア 貴社ご提案システム等の概要資料（様式自由）

イ 情報提供依頼事項に対する提案資料（様式1、提案にかかる詳細資料は様式自由）

ウ 貴社提案システムの運用・保守体制資料（様式自由）

エ 導入実績（様式2）

オ 見積詳細書（様式自由）

カ 構築スケジュール案（様式自由）

キ システム移行等に関する注意事項や要望事項（様式3）

※注意事項や要望事項が無い場合は提出不要です。

ク その他留意事項や提案等（様式4）

※留意事項や提案等が無い場合は提出不要です。

(5) その他

参加申込後に情報提供が困難となり取り下げる場合は、その旨を提出期限内にご連絡いただきますようお願いいたします。

10 問い合わせ先

葛飾区 教育委員会事務局 教育指導課 教育情報係

担 当：松葉、飯塚

電 話：03(5654)9857

葛飾区学校教育総合システム
リプレイス要件（概要）

2025年4月

目次

1. 背景.....	2
2. 次期システムで実現したいこと	3
2.1. システムリプレイスによる期待効果	3
2.2. 期待効果の実現に向けた考え方.....	3
3. 現行システムの構成と課題	4
3.1. 現行システムの概要.....	4
3.2. 現行システムにおける課題.....	4
4. 前提条件	5
4.1. 次期システム構成概要図.....	5
4.2. システム規模.....	5
4.3. 次期システムにおけるセキュリティ対策.....	5
4.4. 次期システムのライフサイクル.....	6
4.5. システムリプレイススケジュール（想定）	6
5. 情報提供を依頼する資料.....	6
6. 見積り概要.....	7
6.1. 開発費用	7
6.2. 保守・運用費用	7
6.3. ハードウェア・ソフトウェア費用	7
6.4. その他費用.....	7

1. 背景

本区では、「子どもや先生一人一人の可能性を引き出す ICT 環境で、かがやく未来をつくる力をはぐくみます」をコンセプトとした「かつしか教育情報化推進プラン」を掲げ、次代を担う子どもたちが変化の激しい社会でたくましく成長して自らの夢や希望を実現できるよう、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に向けて、教育の情報化の推進に取り組んでいるところである。

本区の学校教育総合システムは平成 23 年度から運用を開始しており、令和 2 年度に実施したシステムリプレイスでは学校現場が抱える課題や意見を把握し、その解決策として、校務・学習系端末の統合をはじめ、校務支援システムの刷新や指導要録等の電子化、一部端末によるロケーションフリー化、学習系システムの充実などを実現し、区立学校における ICT を活用した教育の充実や校務の効率化などに寄与してきた。

また、令和 3 年度には GIGA スクール構想に基づく 1 人 1 台端末の整備に伴い、児童・生徒が日常的に 1 人 1 台端末を様々な学習活動で活用できるよう、ネットワーク環境の見直しや学習系システムのクラウド化、ICT 支援員の増員などの、システム環境や学校支援の充実に取り組んできたところである。

一方、文部科学省においては令和 5 年 3 月に「GIGA スクール構想の下での校務 DX について～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」^{※2}を取りまとめ、今後の教育情報システムのあるべき姿として校務系ネットワークと学習系ネットワークの統合及びパブリッククラウド環境を前提とした次世代の校務 DX の姿を示したところである。

しかしながら、本区の現行システムは校務系と学習系のネットワーク分離によるオンプレミス型の運用を主としており、現行のシステム構成では上述した次世代の校務 DX の流れに適合しない状況となっている。

そこで本区では、現行システムが令和 9 年度末にシステムライフサイクルの終期を迎えることから、システムリプレイスに合わせ、校務系・学習系のネットワーク統合によるクラウド環境の活用をはじめ、ICT を活用した「主体的・対話的で深い学び」や働き方改革の推進に向けた環境の充実を図るため、令和 10 年度の本稼働に向けて次期学校教育総合システム（以下「次期システム」という。）の設計・構築を行うものである。

なお、今回のシステムリプレイスは、本区の教育 DX の実現を目指すとともに、学校現場における様々な課題を解決するための好機と捉えた上で、次期システムの構築を実施していく。

※1 本区における学校教育総合システムとは、学校において使用するシステムの総称で、具体的には、校務支援システム、グループウェア、メール、CMS、インターネット環境、学習システム（GIGA スクール関連）、仮想デスクトップ、認証関連等のこと。

※2 本資料における次世代の校務 DX とは、「校務系・学習系ネットワークの統合」「校務系システムのクラウド化」「データ連携基盤（ダッシュボード）の創出」により、ロケーションフリーを含む「働き方改革」、「データ連携」、「レジリエンス」の観点から、学校教育環境における課題を解決するものとされている。

（参考 URL https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/175/mext_01385.html）

2. 次期システムで実現したいこと

2.1. システムリプレイスによる期待効果

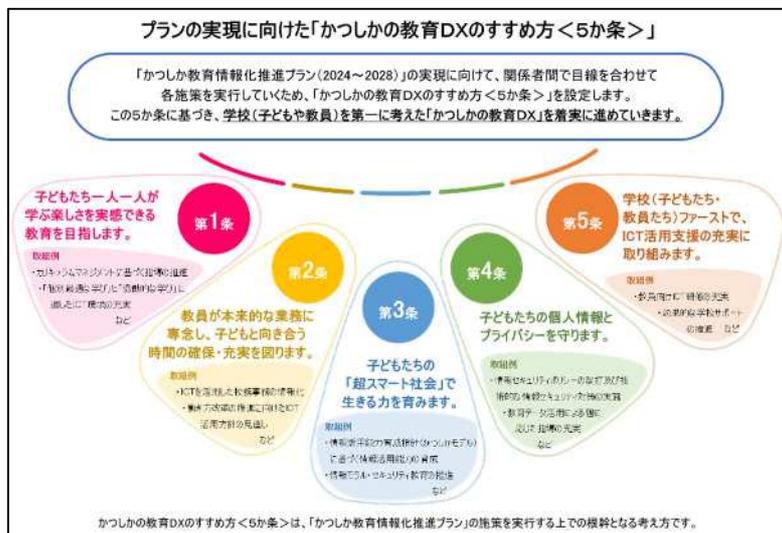
学校教育総合システムのリプレイスにより、「かつしか教育情報化推進プラン（2024～2028）」で示す基本方針ごとに以下の効果を期待する。

- (1) ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現による子どもたちの資質・能力の育成
「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うため、ICTを必要不可欠なツールとして日常的に活用し、児童・生徒一人一人の資質・能力を最大限に引き出す教育を推進する。
- (2) 教員の能力を最大限に発揮するためのICTを活用した働き方改革の推進
教員が自らの能力を最大限発揮するとともに、児童・生徒と向き合う時間を創出するため、ICTを活用した働き方改革を推進する。
- (3) 教育DXを推進するための環境整備とICT推進体制の確保
児童・生徒や教員が日常的にICTを活用できるよう、環境の充実を図るとともに、確実にICT教育を進めていくための体制の整備を行い、教育DXを推進する。

2.2. 期待効果の実現に向けた考え方

システムリプレイスを含め、本区の教育DXを進めていく上では、基本方針に基づく5つの考え方（かつしかの教育DXのすすめ方＜5か条＞）を念頭に置き、取り組んでいく。

- (1) 子どもたち一人一人が学ぶ楽しさを実感できる教育を目指します。
- (2) 教員が本来的な業務に専念し、子どもと向き合う時間の確保・充実を図ります。
- (3) 子どもたちの「超スマート社会」で生きる力を育みます。
- (4) 子どもたちの個人情報とプライバシーを守ります。
- (5) 学校（子どもたち・教員たち）ファーストで、ICT活用支援の充実に取り組みます。



3. 現行システムの構成と課題

3.1. 現行システムの概要

現行システムは、授業支援ツールや協働学習ツールなどの導入による ICT を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現をはじめ、校務・学習系端末の統合や校務支援システムの刷新による校務効率化の推進、ネットワークの三層分離による情報セキュリティの強化などを目指し、平成 30 年度から区が契約するインフラ統合基盤（IaaS 基盤）に構築し、令和 2 年度から運用を開始している。（現行システムの構成図等については別紙 1～3 を参照。）

また、現行システムの構築に合わせ、学校現場における ICT 活用を推進するため、サービスデスク、ICT 支援員、システム保守を一元的に担う「葛飾区学校 ICT サポートセンター※」を導入し、教育委員会とともに学校現場をサポートする体制を構築した。

令和 3 年度には GIGA スクール構想に基づく 1 人 1 台端末の整備に伴い、児童・生徒が日常的に 1 人 1 台端末を様々な学習活動で活用できるよう、学校から直接インターネットアクセスを可能とするローカルブレイクアウト回線の整備、校内無線 LAN 機器の全面刷新、学習系ソフトのクラウド化など、ハード面の整備を進めるとともに、ICT 支援員の訪問日数の増（週 2 日→週 5 日）や ICT 活用事例の共有など、学校への支援充実にも取り組んだ。

※ 各学校からの ICT に関わる問い合わせを一元的に受付する「サービスデスク」、現場での ICT の利活用を支える「ICT 支援員」、高度なスキルセットが要求されるネットワーク・サーバ基盤を維持する「専門技術者」の 3 機能を統合した支援基盤。学校の ICT 利活用の一元的なサポートを実現している。
(参考 URL https://www.netone.co.jp/news/release/20220114_01.html)

3.2. 現行システムにおける課題

「かつしか教育情報化推進プラン(2024～2028)」に掲げる施策を実行する上での課題は以下のとおり。詳細については、「5. 情報提供を依頼する資料」を参照のこと。

(1) ICT を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現による子どもたちの資質・能力の育成

全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現、また、それらの要素を組み合わせた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげるためには、ICT の活用が必要不可欠である。個別最適な学びにおいては、教員がより効果的な指導を行うことができるよう、一人一人の学習履歴を取得・閲覧できる仕組みや、それらを活用して個々の学習状況に応じた課題を提示できる AI 型学習コンテンツを導入するなど、児童・生徒一人一人に寄り添った指導を行うことで、学習習慣の定着を図り、児童・生徒の学びに向かう力を育成する取組が必要となる。また、ICT を効果的に活用することにより、児童・生徒同士で共通の目標や課題の達成を目指す協働的な学びを更に発展させることができることから、授業事例の積極的な共有など、児童・生徒が学び合う教育を推進していく必要がある。

(2) 教員の能力を最大限に発揮するための ICT を活用した働き方改革の推進

今後より一層、学校の働き方改革を推進するため、紙ベースでの処理を前提としていた校務事務の電子化をはじめ、学校教育総合システムのリプレイスに合わせて機能の充実を図り、更なる校務の効率化を推進する必要がある。また、各学校における ICT を活用した校務事務効率化の実践例を共有す

るとともに、教員の多様な働き方に応えられるよう、学校以外の場所でも端末を使って事務処理が行える環境の充実を検討する必要がある。

(3) 教育 DX を推進するための環境整備と ICT 推進体制の確保

ICT を活用した授業の実現には、教員の ICT 活用指導力に応じた研修や特別な支援を必要とする児童・生徒向けの ICT 活用に関する研修等、あらゆる活用に向けたきめ細やかな研修の充実が必要である。さらに、学校全体が一丸となって ICT 活用を促進できる組織づくりを啓発する管理職向けの研修や、教育委員会における教育の情報化に関する取組を定期的に発信するとともに、ICT 支援員の訪問を通して、教員の ICT 活用を支援する体制を確立していくことが求められる。

また、文部科学省が策定する「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」は、国が示す次世代の校務 DX を踏まえた教育情報セキュリティ対策を実現するため、令和 6 年 1 月に改訂された。本区においても、今後のクラウド活用等に合わせ、葛飾区学校情報セキュリティポリシーを見直すとともに、児童・生徒の情報を守り、教員が安全にシステムを利用できるよう必要な情報セキュリティ対策を実施する必要がある。

4. 前提条件

4.1. 次期システム構成概要図

別紙 4 「次期システム構成概要図」のとおり

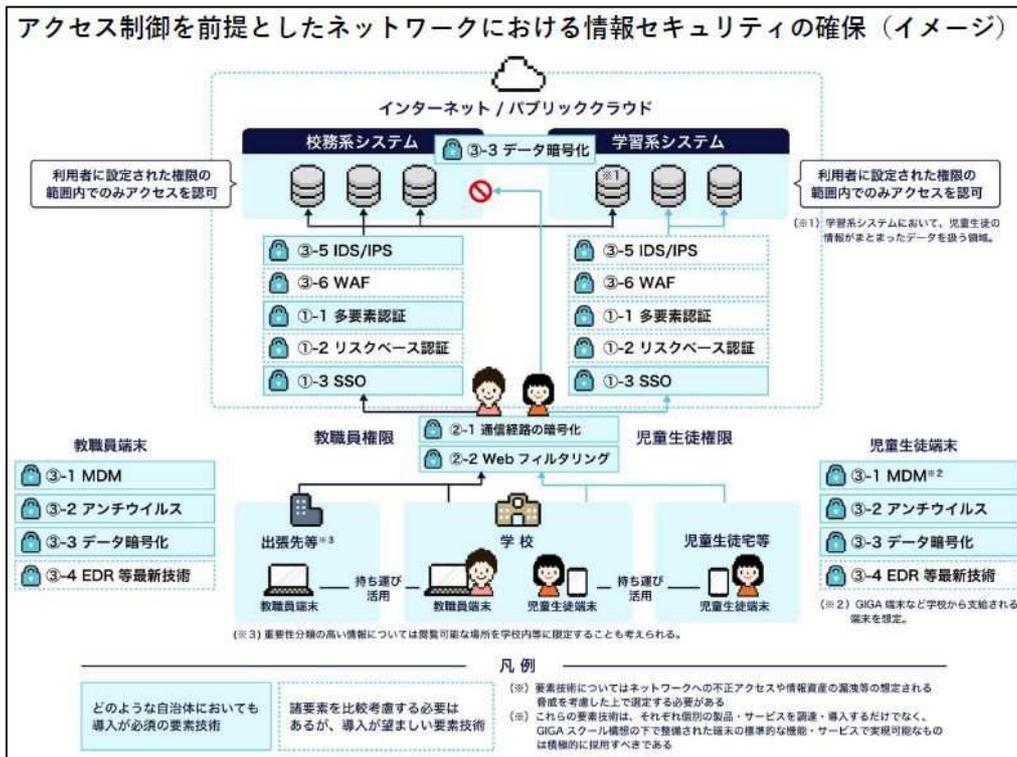
4.2. システム規模

現行システムの規模と同様とする。(現行システムの規模は、別紙 3 を参照)

4.3. 次期システムにおけるセキュリティ対策

次期システムは、校務系・学習系のネットワーク統合及びパブリッククラウド環境を前提とした構成となるため、提案に当たっては以下の資料に記載しているセキュリティ対策を踏まえた構成とすること。

- ・ GIGA スクール構想の下での校務 DX について～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～（文部科学省 令和 5 年 3 月）
- ・ 教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（文部科学省 令和 7 年 3 月）



文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務 DX について～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」から引用

4.4. 次期システムのライフサイクル

令和 10 年 4 月から令和 18 年 3 月まで

4.5. システムリプレーススケジュール (想定)

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| (1) 令和 7 年 5 月～8 月 | RFI により収集した情報を基に次期システムの要件を整理 |
| (2) 令和 7 年 9 月 | 予算要求 |
| (3) 令和 8 年 1 月～3 月 | プロポーザルによる事業者の選定 |
| (4) 令和 8 年 4 月 | 委託契約締結 |
| (5) 令和 8 年 5 月～令和 10 年 3 月 | 要件定義・設計・構築等 |
| (6) 令和 10 年 4 月 | 新システム稼働・運用開始 |

5. 情報提供を依頼する資料

別紙 5 「学校教育総合システム情報提供依頼事項一覧」のとおり

- (1) 課題については可能な範囲で情報提供いただきますようお願いいたします。
- (2) ご提案いただく資料については、様式 1 のリストと紐づくように作成し提出してください。
- (3) 一覧に記載の無いサービスでも教育の充実や校務の効率化等に資するものであれば追加で提案してください。

6. 見積り概要

6.1. 開発費用

- (1) ネットワーク統合（セキュリティ対策を含む）に伴う導入設計・設定・構築作業に係る費用
- (2) 各クラウドサービスの利用に伴う導入設計・設定作業に係る費用
- (3) 構築に当たって、IaaS 基盤などを活用する場合は、その設計・構築費用
- (4) 学校内ネットワークの構築費用
 - ・次期システム用ネットワーク構築（既存機器の入替及び新機器への設定等）に係る費用
 - ・LAN ケーブルの張替えを行う場合は、配線作業も含めること
- (5) パソコン等設定・配置作業費用
 - ・教職員用端末のキitting作業及び各学校への配付作業に係る費用
 - ・学習者用端末の再キitting作業に係る費用（学習者用端末本体の調達費用は含まない。）
 - ・既存プリンタの設定作業に係る費用（教職員用プリンタ本体の調達費用は含まない。）
- (6) 現行システムから次期システムへのデータ移行に係る費用

6.2. 保守・運用費用

ライフサイクル期間中、年度ごとの保守・運用費用を提示してください。

- (1) システムの保守に係る費用
- (2) システムの運用に係る費用
- (3) 学校サポートに関する費用（サービスデスクの運用、ICT 支援員の配置の内訳もお願いいたします。）
- (4) 各学校で利用するインターネット接続回線に係る費用
- (5) 次期システムの稼働に伴う教員向け説明会・研修の開催に係る費用

6.3. ハードウェア・ソフトウェア費用

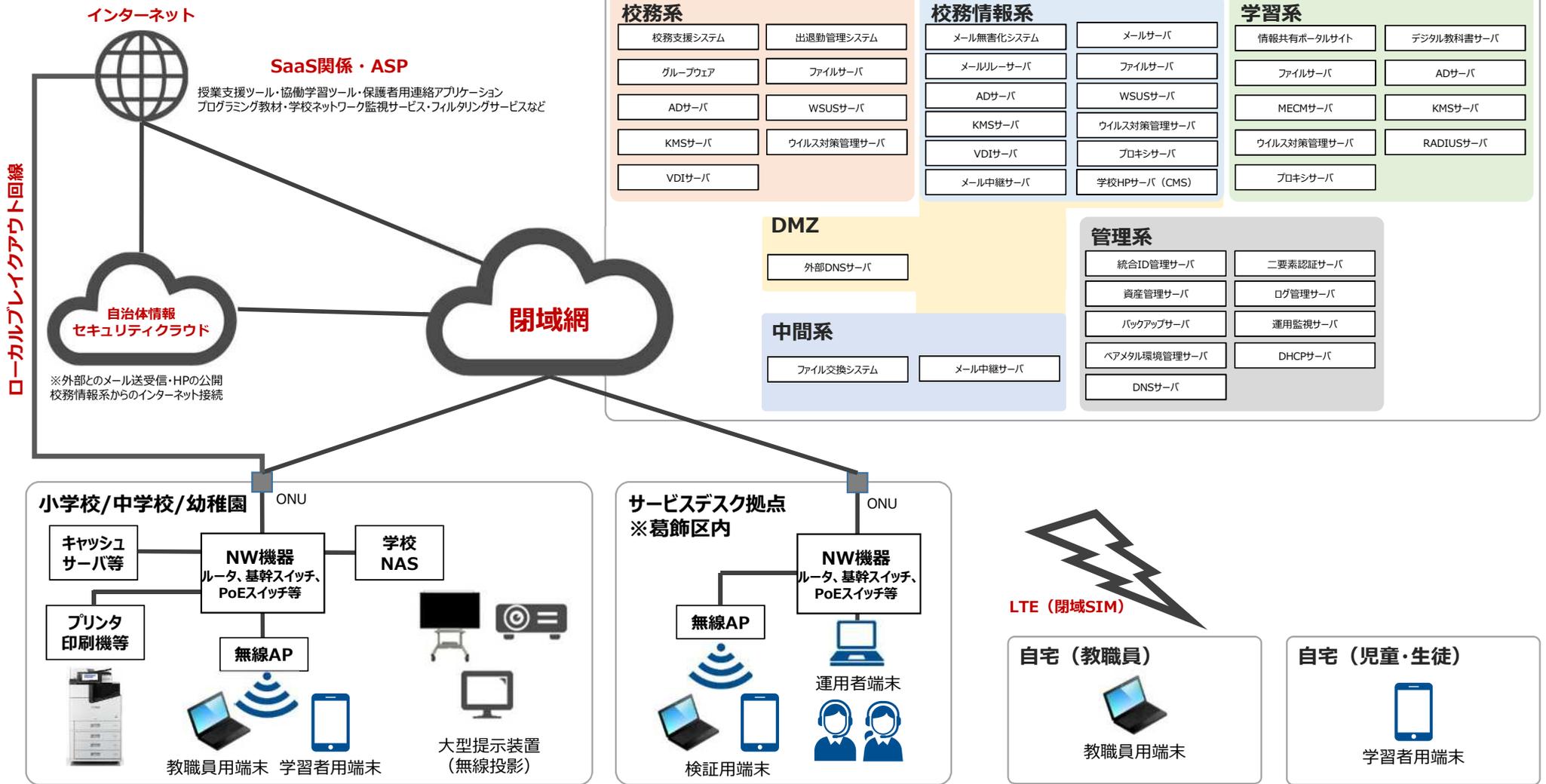
- (1) クラウドサービス（IaaS、PaaS、SaaS）の利用に係るライセンス費用
- (2) 構築するシステムに係るハードウェア費用
- (3) 構築するシステムに係るソフトウェア費用

6.4. その他費用

上記以外に必要な費用について、すべて提示してください。

以上

(別紙 1) 現行のシステム構成概要図



学校教育総合システム（サーバ、システム等一覧）

No.	系	システム名等	概要
1	校務系	校務支援システム	教職員の校務事務の効率化を目的としたシステムで、成績処理、出欠管理、時数管理、保健管理、指導要録等の機能を有するシステムのこと。
2		出退勤管理システム	教職員の出退勤時刻を把握、管理するシステムのこと。
3		グループウェア	教職員等の情報共有を目的としたシステムで、メール、スケジュール管理、掲示板等の機能を有するシステムのこと。
4		ファイルサーバ（校務系）	校務系ネットワーク内で利用するファイルを保管するサーバのこと。
5		AD サーバ（校務系）	校務系システムのアカウントの管理を行うためのサーバのこと。
6		WSUS サーバ(校務系)	校務系仮想端末等に対して、Windows セキュリティパッチをダウンロード、配信するためのサーバのこと。
7		KMS サーバ（校務系）	校務系仮想端末等の Windows のボリュームライセンスの認証を行うためのサーバのこと。
8		ウイルス対策管理サーバ(校務系)	校務系仮想端末等に対して、ウイルス対策のパターンファイルの更新・アップデート等を管理・チューニングをするサーバのこと。
9		VDI サーバ（校務系）	校務系システムを利用するための仮想端末環境を提供するためのサーバのこと。
10	校務情報系	メール無害化システム	インターネットから来るメールの添付ファイル等を無害化（サニタイズ等）を行った上で、校務系グループウェアメールへメールを転送するシステムのこと。
11		メールサーバ（校務情報系）	無害化処理前の原本メールを受け取る為のサーバのこと。
12		メールリレーサーバ	無害化処理前の原本メールを、インターネットメール無害化システムとメールサーバ（校務情報系）にコピー配送するためのサーバのこと。
13		ファイルサーバ（校務情報系）	校務情報系ネットワーク内で利用するファイルを保管するサーバのことで、基本的に校務系とインターネット間のファイル授受をする際の一時保管場所として利用するもの。
14		AD サーバ（校務情報系）	校務情報系システムのアカウントの管理を行うためのサーバのこと。
15		WSUS サーバ(校務情報系)	校務情報系仮想端末等に対して、Windows セキュリティパッチをダウンロード、配信するためのサーバのこと。
16		KMS サーバ（校務情報系）	校務情報系仮想端末等の Windows のボリュームライセンスの認証を行うためのサーバのこと。
17		ウイルス対策管理サーバ(校務情報系)	校務情報系仮想端末等に対して、ウイルス対策のパターンファイルの更新・アップデート等を管理・チューニングをするサーバのこと。
18		VDI サーバ（校務情報系）	インターネットや校務情報系システムを利用するための仮想端末環境を提供するためのサーバのこと。
19		プロキシサーバ（校務情報系）	校務情報系の仮想端末からインターネット上の Web サイトを閲覧する際、ページ情報を一時的にキャッシュしておくためのサーバ
20		メール中継サーバ	外部インターネットメールとの送受信を行うメールの中継サーバのこと。
21		学校 HP サーバ（CMS）	学校ホームページの作成や運用管理ができるシステムのこと。

22	学習系	情報共有ポータルサイト	GIGA スクール構想に関連する情報を発信するポータルサイト。区教育系環境におけるシステム・ツールのマニュアル、学習支援ツールを活用した授業支援方法（知恵袋）や実施した研修等を掲載するサイトのこと。
23		デジタル教科書サーバ	デジタル教科書や教材を配信するためのサーバのこと。
24		ファイルサーバ（学習系）	学習系ネットワーク内で利用するファイルを保管するサーバのこと。
25		AD サーバ（学習系）	学習系システムのアカウントの管理を行うためのサーバのこと。
26		MECM サーバ(学習系)	学習系端末等に対して、Windows セキュリティパッチをダウンロード、配信するためのサーバのこと。
27		KMS サーバ（学習系）	学習系端末等の Windows のボリュームライセンスの認証を行うためのサーバのこと。
28		ウイルス対策管理サーバ(学習系)	校務系仮想端末等に対して、ウイルス対策のパターンファイルの更新・アップデート等を管理・チューニングをするサーバのこと。
29		RADIUS サーバ	外部からの不正アクセス等を防止するため、RADIUS 認証を行うためのサーバのこと。
30		プロキシサーバ（学習系）	学習系端末からインターネット上の Web サイトを閲覧する際、ページ情報を一時的にキャッシュしておくためのサーバ
31		中間系	ファイル交換システム（無害化用）
32	ファイル交換システム（非無害化用）		校務情報系・学習系と校務系において、ファイルの受け渡しを行うシステムで、電子ファイルの無害化（サニタイズ）が実施できないファイルを、承認行為等を経て、ファイルを交換可能とする為のシステムのこと。
33	メール中継サーバ		庁内（city.katsushika.lg.jp）メールと送受信する際に中継するメールサーバのこと。
34	管理系	統合 ID 管理サーバ	各セグメントに置かれる AD サーバや SaaS 等アプリケーションのアカウント情報を一元的に管理するためのサーバのこと。
35		二要素認証サーバ	校務用仮想端末ログイン時に IC カードを用いる事で二要素認証を実現する為の管理サーバのこと。
36		資産管理サーバ	ICT 機器やソフトウェア等の資産を管理・運用するためサーバのこと。
37		ログ管理サーバ	今回構築し、運用するシステムのログを整理し、分析できるように保管する為のサーバのこと。
38		バックアップサーバ	ベアメタル環境等、インフラ統合基盤のバックアップサービスを使用できない環境用のバックアップサーバのこと。
39		運用監視サーバ	ベアメタル環境等、インフラ統合基盤の監視サービスを使用できない環境用の監視サーバのこと。
40		ベアメタル環境管理サーバ	ベアメタル環境を統合管理し、リソース管理やコントロール、デプロイを統合的におこなう為のサーバのこと。
41		DHCP サーバ	各セグメントの端末に対して、動的に IP アドレスを割り振るためのサーバのこと。
42		DNS サーバ	内部 LAN 側の名前解決を行うためのサーバのこと。
43		DMZ	外部 DNS サーバ

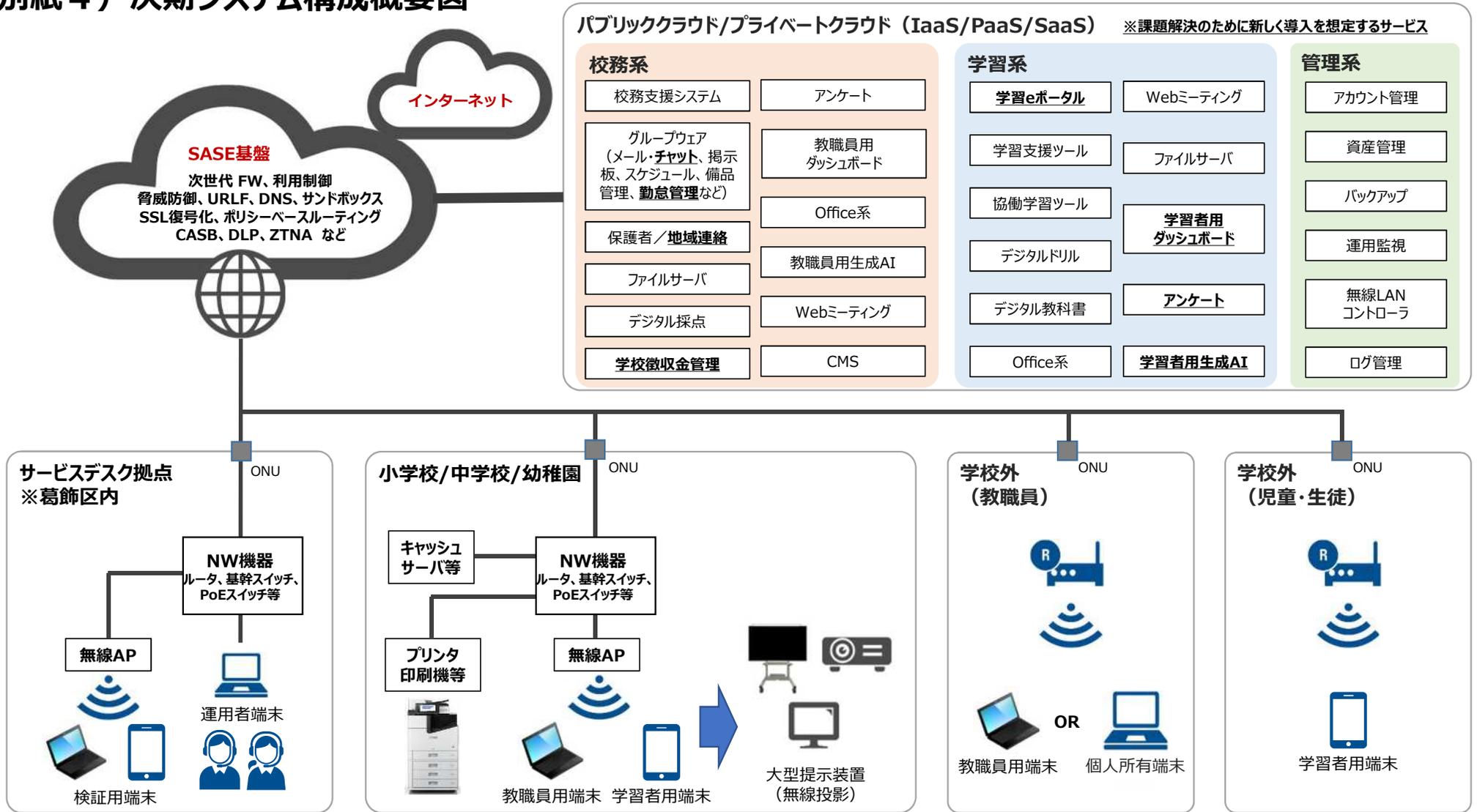
44	その他	授業支援ツール	教職員・児童・生徒間における資料の作成・配付やデータ管理・保存等を行うクラウドサービス機能のこと。
45		協働学習ツール	児童・生徒に対して協働学習をはじめ、テスト（CBT）機能などを包含するサービスのこと。
46		保護者用連絡アプリケーション	区内学校に通学する児童生徒の保護者に対して学校からお知らせの通知や欠席連絡等のやり取りをおこなうためのアプリケーションのこと。
47		プログラミング教材	学習指導要領に基づき、区立小・中学校それぞれに対して統一したプログラミング教材を導入し、授業で活用している。小学校はロボット型でのものと、中学校はプログラミング言語を用いてWebサイトを作成する教材のこと。
48		ネットワーク監視サービス	学校内におけるネットワーク機器の稼働状態を監視するためのサービスのこと。
49		フィルタリングサービス	学習者用端末のアクセスを制御するために導入するフィルタリングサービスのこと。
50		デジタル採点サービス	中学校で導入する生徒が紙で回答した用紙をスキャナーで読み取り、教職員端末上からサービスに接続し、電子的に採点するサービスのこと。
51		デジタル百科事典サービス	インターネット上で利用できるオンライン百科事典のこと。
52		MDM	学習者用端末を一元的に管理するためのサービス。主にセキュリティ、設定、アプリの配付、デバイスのリモート設定を行うサービスのこと。
53		生成 AI（教職員用）	人工知能の一分野で、与えられたデータを基に新しいデータを生成するサービスのこと。

学校教育総合システム（システム規模）

No.	大項目	小項目	数	備考
1	学校数等	小学校	48 校	
		中学校	24 校	
		特別支援学校	1 校	区外（千葉県安房郡鋸南町）
		総合教育センター	1 拠点	
		幼稚園	1 園	
		教育委員会事務局	1 拠点	
2	学級数	小学校	754 学級	令和 7 年 4 月現在
		中学校	293 学級	令和 7 年 4 月現在
3	教員等数	小中教員	2,032 人	令和 7 年 4 月現在
		事務職員	103 人	令和 7 年 4 月現在
		栄養士	73 人	令和 7 年 4 月現在
4	児童・生徒数	小学校	20,289 人	令和 7 年 4 月現在
		中学校	8,673 人	令和 7 年 4 月現在
5	校務用 PC	システム PC	2,250 台	本端末は、学習用タブレット PC（教員用）を兼ねる。
		システム PC（持出用 PC）	590 台	本端末は、学習用タブレット PC（教員用）を兼ねる。
6	校務用プリンタ	システムプリンタ	271 台	
7	校務用システムアカウント	統合 ID 管理	3,364 ユーザー	
8	学習用複合機	複合機	75 台	各学校 1 台
9	学習用システムアカウント（教員用）	統合 ID 管理	3,364 ユーザー	
10	学習用システムアカウント（児童・生徒用）	統合 ID 管理	28,962 ユーザー	令和 7 年 4 月現在の児童生徒数で算出
11	学校内設置の校務用ネットワーク機器（全校分）	学習系ルータ	74 台	
		L3 スイッチ	74 台	
		タブレット端末用キャッシュサーバ	74 台	
		キャッシュサーバ用 L2 スイッチ	74 台	
		学校 NAS	74 台	
12	学校内設置の学習用ネットワーク	AP	2,243 台	
		PoE ハブ	2,243 台	

No.	大項目	小項目	数	備考
	ク等機器 (全校分)	L2 スイッチ (8 ポート)	106 台	
		L2 スイッチ (24 ポート)	221 台	

(別紙4) 次期システム構成概要図



NO.	かつしかの教育DXのすすめ方	カテゴリ	情報提供を依頼する資料	課題（背景）
1	子どもたち一人一人が学ぶ楽しさを実感できる教育を目指します。	授業支援ツール (コラボレーションツール)	授業支援ツール（コラボレーションツール）に関する資料	教職員-児童・生徒間における課題の作成・配付/回収・採点・フィードバックをはじめ、学習者用端末の一斉操作（一括ロック、画面配信、画面情報の取得など）の機能を備えた授業支援ツール（コラボレーションツール）に関して、児童・生徒が安心して学習に取り組めるよう安全性や操作性を考慮したサービスについて意見招請するもの なお、上記機能については、個別最適な学びや協働的な学びに適した学習コンテンツに含まれていても可とする。
2		個別最適な学び	個別最適な学びに適した学習コンテンツに関する資料	児童・生徒一人ひとりに個別最適化された学習環境の提供により、児童・生徒自身が学習内容を調整することで、学力の定着と学習意欲の向上が期待できることから、AI機能等を搭載したデジタルドリルなど個別最適な学びに適したサービスについて、意見招請するもの
3		協働的な学び	協働的な学びに適した学習コンテンツに関する資料	思考ツールなどを活用した授業による思考力・判断力・表現力の育成を目的とした児童・生徒同士が学び合う協働的な学びに適した学習コンテンツについて意見招請するもの
4		ダッシュボード	デジタルドリルや協働学習ソフト、デジタル教科書など、様々なサービスにおける取組状況や成果などについて、教員や児童・生徒、保護者が一元的に閲覧できるサービスや活用方法に関する資料	校務及び学習に関するデータを統合・可視化することで、学校・学級運営や個別最適な学びの充実に期待できることから、教育ダッシュボードに関する情報について意見招請するもの
5		データ利活用	児童・生徒に関する校務系データ（出欠席情報や成績情報等）や学習系データ（デジタルドリルなど各サービスの取組状況等）を収集し、分析できる環境や活用方法に関する資料	児童・生徒に関する校務系データ（出欠席情報や成績情報等）や学習系データ（デジタルドリルなど各サービスの取組状況等）を一元的に収集し、分析することで児童・生徒単位での教育の充実や学級・学校単位での運営の効率化・高度化できる環境（データレイクやBIツール等）やデータの活用方法について意見招請するもの
6		デジタル教科書	デジタル教科書における円滑な利用環境及び効果的な活用方法に関する資料	現在、学習者用デジタル教科書においては出版社ごとに異なるプラットフォームで配信されている状況であり、教科書ごと（プラットフォームごと）に利用者のアカウントを切り替える必要があるなどの課題が生じている。また、指導者用デジタル教科書においても、従来のサーバ配信型からクラウド環境に移行するケースがあり、学習者用と同じ課題が生じている。SSOの実装など、円滑にデジタル教科書が利用できる環境及び効果的に活用できる手法について意見招請するもの
7		学習eポータル	MEXCBT及びデジタル教科書等のクラウドサービスの玄関機能となる学習eポータルについて、製品及びアカウントの管理方法等に関する資料	MEXCBTの活用を前提とし、次期システムのICTを活用した学習環境や各製品の将来性などを踏まえた学習eポータルの導入について意見招請するもの
8		学びの保障	学びの保障のためのオンライン配信環境に関する資料	災害や感染症による臨時休業等の非常時の際に児童・生徒の学びを保障するための授業のオンライン配信等を可能とするサービスや運用方法について意見招請するもの
9		特別支援教育	児童・生徒一人ひとりのニーズに応じたICT環境に関する資料	ICTを活用することで、配慮が必要な児童・生徒の一人ひとりの状況に応じた支援が可能となるとともに、障害の有無にかかわらず、共に学び合える環境について意見招請するもの
10		不登校	不登校児童・生徒への学習支援や教育相談を可能とするサービスに関する資料	校内の適応指導教室などにおける児童・生徒へのICTを活用した学習支援や教育相談に関するサービスについて意見招請するもの
11		日本語指導	日本語指導が必要な児童・生徒への指導に適したサービスに関する資料	外国籍児童・生徒に対する日本語指導や教科指導において、活用できる翻訳サービス等について意見招請するもの
12		心身の状態変化の健康観察	支援を求める児童・生徒の早期発見を目的としたサービスに関する資料	支援を求める児童・生徒をICTを活用して早期発見できるサービスについて意見招請するもの
13		個別アプリ	学力向上や学びの充実に向けて、各学校の特色に応じた有効なサービス並びに最適な導入ルールのあり方に関する資料	児童・生徒の特性に応じて、学校裁量で教育用アプリやクラウドサービスを柔軟に導入できることは、教育活動の充実に期待できることから、学校独自にアプリやクラウドサービスを導入するための運用方法のあり方について、意見招請するもの
14		ネットワーク	学校施設内（校庭などの屋外を含む）における最適な通信環境（無線LAN）整備に関する資料	現在無線LANが整備されていない諸室（校長室や保健室、会議室）においても、ペーパーレスによる会議を行いたいなどの要望があるため、学校施設内（校庭などの屋外を含む）ならどこでもネットワークに接続できる校内ネットワーク環境について意見招請するもの また、体育館など大規模会場において、大人数で端末を利用するため、合わせて最適なネットワーク環境について意見招請するもの
15	ネットワーク	クラウド環境の本格的な活用を踏まえた最適なインターネット回線に関する資料	次期システムでは、クラウドサービスの利用が前提になることや今後デジタル教科書が拡大することから、インターネットへの接続帯域や冗長化など最適な回線を選択する必要がある。各学校からの接続方式（集約型、直接型など）や必要帯域、冗長化などに関する情報について意見招請するもの	
16	学習者用端末	教職員及び児童・生徒のシステム利用環境におけるSSOの実装に関する資料	教職員及び児童・生徒においては、学習支援ツールやデジタルドリル、デジタル教科書などシステム毎にログインが求められるため、円滑なシステム利用が妨げられることがあり、また、アカウント管理が煩雑であることから、各システム・サービスに単一のアカウントでSSOできるソリューションについて意見招請するもの	

NO.	かつしかの教育DXのすすめ方	カテゴリ	情報提供を依頼する資料	課題（背景）
17	教員が本来的な業務に専念し、子どもと向き合う時間の確保・充実を図ります。	校務支援システム	校務支援システムの操作性、運用に関する資料	現行の校務支援システムにおいては、活用ルールを定めるなど効果的に活用できるよう学校に働きかけを行っているが、一部の機能については使い勝手から利用を任意扱いとしている機能も存在している。また、利用を必須にしているものの、操作方法が複雑だったり、運用面に課題が生じていることから、校務支援システムの操作性・運用面に関して意見招請するもの (例：欠課登録が煩雑なことによる中学校出席簿の紙管理、スケジュール機能までのアクセスが煩雑なことや黒板への書き込みによる共有 など)
18		校務支援システム	保護者連絡アプリケーションと校務支援システムが連携し、出欠席情報等を反映できるサービスに関する資料	校務系・学習系ネットワークの分離環境により、保護者連絡アプリケーションと校務支援システム分かれているため、児童・生徒情報や欠席情報が連携できず、手動による処理を強いられている状況にある。こういった課題を解決するため、ネットワーク統合環境下において両システムの情報が連携できるサービスについて意見招請するもの
19		校務支援システム	将来的に稼働が想定される東京都の共同調達による校務支援システムへの移行に関する資料	稼働時期は未定だが、近い将来、東京都の共同調達による校務支援システムが稼働することが見込まれる。共同調達の校務支援システムへの移行も見据え、データ移行が最小限に抑えられる手法や移行に伴い生じるリスク等に関して意見招請するもの
20		グループウェア	教員同士の情報共有をICTを活用して効率よく実現できるサービスに関する資料	教員同士の情報交換はメール及び校務支援システム内の連絡掲示板と限られている。円滑な情報交換の場を提供することによる教育の充実、校務の効率化を実現するため、ICTを活用した効果的・効率的な情報交換・共有のサービスに関して意見招請するもの
21		グループウェア	出退勤や出張、休暇など、様々なサービスを管理でき、都教育庁の人事給与システムと連携できるシステムに関する資料	現行システムには、出勤簿管理や出張、休暇などのサービス管理機能が備わっておらず、紙による出勤簿管理やエクセルなどによる出張、休暇管理が行われている状況にある。様々なサービス管理をシステム化するともに、必要な情報を都教育庁のシステムに連携できる環境に関して意見招請するもの
22		ファイルサーバ	物理機器である校内NASの廃止を前提とした大容量ストレージを適切に管理できる環境（オンプレ、クラウド問わず）に関する資料	現行システムではファイルサーバの空き容量が慢性的にひっ迫しており、頻りにファイルの整理を強いられる状況である。また、学校内にNASを設置し、保存用のデータを格納している状況であり、レジリエンスの観点で課題が生じている。こういった課題を解決するため、物理機器の廃止を前提とした大容量ストレージを適切に管理できる環境や他の教職員とのファイル共有が行いやすい環境について意見招請するもの
23		CMS	レスポンス、多言語翻訳に対応した学校ホームページを作成できるCMSに関する資料	現行システムにおけるCMSでは、スマートフォン用の表示（レスポンス）に対応していないことや、多言語翻訳機能が備わっていないなどの課題が生じているため、こういった課題に対応したCMSに関して意見招請するもの
24		CMS	学校ホームページの更新に当たって、専門的な知識がなくとも簡易に更新できる環境や作業自体の代行など、CMSの運用面に関する資料	現行システムにおけるCMSでは、ホームページの更新に知識が必要であり、簡易に更新できない状況である。専門的な知識がなく更新できる環境や更新作業自体の支援や代行など運用面のあり方について意見招請するもの
25		学校徴収金管理	収納事務の代行など、学校徴収事務の効率化に関する資料	学校徴収金事務に関しては、学校により利用する金融機関の違いや複数口座の管理など煩雑な業務を強いられている状況にある。汎用クラウドツールを活用した学校徴収金事務の効率化または、収納事務の代行等に関して意見招請するもの
26		校務事務	汎用クラウドツールやAI等を活用した校務事務（自動採点や時間割作成、クラス編成、備品管理等）を効率化するサービスに関する資料 また、ノーコードツールの活用を視野に入れた学校への支援方法のあり方に関する資料	学校における校務事務は多岐にわたり、システム化が実現していない業務も存在している。こういった事務をICTを活用して効率化するため、汎用クラウドツールやAI等を活用したサービスに関して意見招請するもの また、様々な業務に対応するため、ノーコードツールの活用も視野に入れ、活用方法や学校への支援のあり方について、意見招請するもの

次期学校教育総合システム 情報提供依頼事項一覧

NO.	かつしかの教育DXのすめ方	カテゴリ	情報提供を依頼する資料	課題（背景）
27	教員が本来の業務に専念し、子どもと向き合う時間の確保・充実を図ります。	授業改善	AIなどを活用した教職員への授業改善サポートに関する資料	主体的・対話的で深い学びの実現に向けては、従来の授業研究等に加え、AIなどを活用した客観的な評価を取り入れることで、さらなる授業改善の効果が期待できることから、AI等を活用したサポートサービスについて意見招請するもの
28		地域情報発信	学校から保護者、地域向けに情報発信できる環境に関する資料	地域向け（学童クラブやPTA等）の情報発信については、紙による資料配布や学校ホームページによる公開など情報発信の手段が限られている状況にある。保護者や地域向けにプッシュ型で情報発信（多言語対応）できる環境・サービスについて意見招請するもの
29		インフラ	すべての教職員がロケーションフリーで業務ができるよう、区が貸与する教職員用端末またはBYOD端末を利用して学校外からシステムを利用できる安全な環境に関する資料	現行システムでは、一部の端末のみロケーションフリーで業務が実施できる環境であるが、働き方改革やレジリエンスの観点からすべての端末で安全にロケーションフリーで業務が実施できるよう実現方法について意見招請するもの なお、将来性を考慮し、BYOD端末でも業務が実施できる環境についても併せて意見招請するもの
30		インフラ	学校教育総合システムのネットワークとLGWAN（総合行政ネットワーク）におけるデータのシームレスな連携などを可能とする運用方法や環境に関する資料	学校教育総合システムとLGWAN系のネットワークが分かれていることから、学校の管理職においては、それぞれの端末を使い分けながら業務にあたっている状況であり、データの連携等が煩雑になるなど課題が生じている。別ネットワーク環境下においてもシームレスなデータ連携（円滑なメールの送受信を含む）が可能となるような事例や環境等について、意見招請するもの
31		教職員用端末	教職員のニーズに応じたシステム利用を目的としたアカウントの管理方法及び教職員用端末の整備台数に関する資料	学校には様々な教職員が在籍しており、それぞれの職種によってもシステム利用のニーズはまちまちであり、管理が非常に煩雑である。様々な教職員が適切なシステムを利用できるよう適切なアカウントの管理方法及び端末の整備台数について意見招請するもの
32		学習者用端末	複数のOfficeソフト（MS製、Google製、Apple製）を利用していることから、Office用ソフトの統一に向けた移行方法に関する資料	教職員と児童・生徒が主に利用するOffice用ソフトが異なるため、互換性等の問題により変換時にレイアウトが崩れるなどの事象が発生し、都度手直しの手間が生じている。Office用ソフトの統一による移行作業等、適切な運用方法について意見招請するもの
33		学習者用端末	単元テストや定期考査のCBT化に関する資料	単元テストや定期考査等のCBT化は、採点業務の効率化によるテスト返却時間の短縮など、その後の指導の充実にも効果が期待されることから、各テストのCBT化に関して意見招請するもの
34		子どもたちの「超スマート社会」で生きる力を育みます。	情報活用能力育成	児童・生徒のタイピングスキルの育成、取組状況を学校で管理できるサービス、アプリケーションに関する資料
35	情報活用能力育成		学習で活用できる生成AIに関する資料	AI時代を生きる子どもたちが生成AIをはじめとするテクノロジーをツールとして使いこなしていく観点から、学校の活用に適した生成AIや活用手法について意見招請するもの
36	情報活用能力育成		ICTを活用した探究的な学びの充実に関する資料	児童・生徒が身近な事象を基に課題を設定し、情報の収集、整理、分析、まとめ、表現したりする探究的な学びにおいて、ICTを活用した事例や適したサービスに関して意見招請するもの
37	情報活用能力育成		児童・生徒の発達段階に応じたプログラミング教育に関する資料	児童・生徒の発達段階に応じたプログラミング教育が実施できるよう、各発達段階に応じたプログラミング教材（中学校においては、計測制御、双方向通信に対応したもの）及び発達段階ごとの活用事例について意見招請するもの
38	子どもたちの個人情報とプライバシーを守ります。	セキュリティ	校務系と学習系のネットワークの統合に関する資料及び統合に伴うセキュリティ確保に関する資料	クラウドサービスの活用を前提とする次期システムでは、校務系及び学習系のネットワークを統合する必要があるため、統合の実現方法及び統合に伴うセキュリティリスク、セキュリティ確保に関する情報について意見招請するもの
39		セキュリティ	校務系と学習系のネットワークの統合を前提としたアカウント管理方法及びアクセス制御による適切なデータ管理方法に関する資料	ネットワーク統合環境におけるアカウント管理方法及び利用者負担の少ない二要素認証のあり方について、意見招請するもの また、現行システムでは、校務系に保存する機微情報の持ち出しには、管理職（学校長又は副校長）の承認を得なければ持ち出しできない仕組みを導入しているが、今後、校務系・学習系のデータが混在する中で、情報漏洩の防止と効率的な運用のバランスを考慮した適切なデータの管理方法等について、意見招請するもの
40		セキュリティ	テナント制御により私物アカウント、私物端末の利用を抑止する手法に関する資料	ネットワーク統合環境において、情報漏洩や不正アクセスを防止することを目的として、教職員や児童・生徒個人の私物アカウントや私物端末の利用を抑止する手法について意見招請するもの

次期学校教育総合システム 情報提供依頼事項一覧

NO.	かつしかの教育DXのすすめ方	カテゴリ	情報提供を依頼する資料	課題（背景）
41	子どもたちの個人情報とプライバシーを守ります。	セキュリティ	SOCの運用や体制に関する資料	セキュリティインシデント発生時におけるSOCの運用について、教育委員会との連携体制等について意見招請するもの
42		セキュリティ	葛飾区学校情報セキュリティポリシーの見直しに伴う支援内容に関する資料	次期システムはネットワークの統合及びクラウドサービスの活用を前提とした構成となるため、現行の葛飾区学校情報セキュリティポリシーの見直しが生じることから、見直しに関する支援内容や教員向けの教育のあり方について意見招請するもの
43		セキュリティ	児童・生徒の教育データの利活用に係る取扱いルールの策定に関する資料	児童・生徒に関する校務系・学習系データの収集・分析に伴い、児童・生徒の個人情報及びプライバシーの保護を目的とした、取り扱うデータの種類や利用目的、利用範囲等について、本区としての考え方を整理する必要があるため、ルール策定に関する手法について意見招請するもの
44		移行	校務系と学習系のネットワークの統合を前提としたネットワーク環境の移行及び各種クラウドサービスへの移行に関する資料	現行システムのネットワーク分離型からネットワーク統合環境に移行することから、ネットワーク及び各種クラウドサービスへのデータ移行手段・スケジュール等の情報について意見招請するもの
45	学校（子どもたち・教員たち）ファーストで、ICT活用支援の充実に取り組みます。	活用支援	本区の財政面を踏まえた授業や校務事務におけるICTの効果的な活用を促す支援の在り方に関する資料	学校においてICTを活用した教育の充実、校務効率化の促進、不具合事象発生時の迅速な対応等、学校を支援する体制のあり方（ICT支援員・サービスデスク・保護者窓口・運用支援等の設置・相互連携など）について意見招請するもの
46		活用支援	ICTの効果的な活用を目的とした、教育委員会から教職員に対する啓発資料等の情報の発信手段や発信内容のあり方に関する資料	本区においては、学校におけるICTを活用した教育の充実、校務効率化の促進を目的として、ICT活用の啓発資料や情報共有ポータルサイト、活用事例等の情報発信を行っている。こういった情報の効果的な発信手段や発信内容について、意見招請するもの
47		活用支援	教育DXの実現のための教員向け研修のあり方に関する資料	ICTを活用した授業実践（プログラミング教育や情報モラル教育を含む）や校務の効率化等を推進するための教員のデジタル人材化を目指した研修のあり方について、意見招請するもの
48		活用支援	教育委員会とシステム事業者が一体となって教育DXを推進するための体制に関する資料	本区の教育DXを推進していく上では、教育委員会、学校、システム事業者の三者が密に連携する必要があることから、この三者の連携体制のあり方について、意見招請するもの
49		運用支援	サービスデスク及び予備機器の設置場所に関する資料	現在、区施設内にヘルプデスクを設けているが、執務スペースや機器類の保管スペースが足りていない状況である。次期システムの運用にあたり、学校へのワークアラウンドの効率化を踏まえた設置場所等（区施設外を含む）のあり方について意見招請するもの
50	運用支援	学習者用端末の最適な運用方法に関する資料	約33,000台に及び学習者用端末を適切に管理するための最適な運用方法について意見招請するもの ※ここでいう管理とは、端末の貸与状況や故障管理、予備機の管理やMDMによる設定・アプリの配信、定期的なアップデート、データのバックアップ、年度更新などを指す。	
51	状況把握	教職員及び児童・生徒におけるICTの活用状況の把握・分析手法に関する資料	教職員及び児童・生徒におけるICTの活用状況を把握するとともに、様々な情報（アンケート結果等）と関連付けて分析できる手法について、意見招請するもの	
52	その他情報提供を依頼するもの	大型提示装置	将来的な授業を見据えた、大型提示装置の充実・最適化（投影方式、サイズなど）に関する資料	授業の展開方法や教室の大きさ等により、大型提示装置の投影方式、サイズ、台数などが異なることから教材提示環境の最適化に関して意見招請するもの
53		無線投影装置	大型提示装置等に対してマルチOSで無線投影（操作も含む）及び一斉配信できるソリューションに関する資料	現在の大型提示装置は、iPadからの無線投影に対応していないため、Windows端末やiPadなどマルチOSで無線投影できるソリューションについて意見招請するもの また、1台の端末から複数の大型提示装置へ投影（一斉配信）できるソリューションについて意見招請するもの
54		大型提示装置（サイネージ）	職員室等への情報共有用サイネージの設置に関する資料	現在、黒板等を利用して教職員の予定等を共有している状況であり、情報共有用のサイネージを設置することで校務の効率化や視認性の向上等が期待できることから、情報共有用サイネージについて意見招請するもの
55		印刷環境	児童・生徒においてもICTを活用して作成した成果物を出力できる印刷環境のあり方に関する資料	現在各学校に1台ずつ整備している児童・生徒用複合機は、設置場所（主にコンピュータ教室）や印刷コストの関係から積極的に活用されているとはいえない状況にある。児童・生徒の成果物などが容易に印刷できる最適な環境について、意見招請するもの
56		コンピュータ教室	PC教室の活用方法について、他自治体での事例等に関する資料	コンピュータ教室においては、STEAM教育の充実を目的としてファブスペースとしての活用などが求められていることから、他自治体の動向や整備が望まれる環境について意見招請するもの
57	健康	児童・生徒の健康に留意してICTを活用するための環境に関する資料	ICTの活用に当たっては、教室の明るさや大型提示装置の輝度・映り込みへの考慮、学習者用端末の利用時の姿勢等、考慮すべき点が多いことから、健康面に留意した教室環境等のあり方に関して意見招請するもの	